

# **施設管理者のためのロケ撮影対応マニュアル**

平成20年11月

東京ロケーションボックス  
(東京都産業労働局観光部)

円滑なロケ撮影を推進する協議会

# はじめに

東京は様々な顔を持つ街が集まった大都市であり、映画・テレビドラマを始め多くの映像作品の舞台としても取り上げられてきました。世界的企業が集まる高層ビル群・猥雑な繁華街・庶民の生活感溢れる路地裏など「映像資源の宝庫」とも言えます。

これまで、黒澤明監督や小津安二郎監督など世界的に著名な監督達も東京を舞台にした名作を残しており、近年は海外の撮影隊（ロケ隊）も撮影に訪れています。

実際に都内各地では日常的にロケーション撮影（ロケ撮影）が行われており、多くの施設や地域の住民が協力をしてきました。過去の優れた作品はこれらの理解と応援によって作り出されてきたと言えるでしょう。

ロケ撮影に協力することは、煩雑なこともあります、協力する施設側にもメリットがあります。例えば以下のようなことが考えられます。

1. 施設や企業名が作品の中で紹介されることでPRやイメージアップになる
2. 作品の舞台になった場所が新しい観光スポットとなり、賑わい創出や地域の活性化につながる
3. 施設使用料・立会いの人件費・駐車場料金など施設側の収益になる

このマニュアルは、ロケ撮影に施設を貸す場合の注意事項についてまとめたものです。同じロケ撮影でも、映画・テレビドラマ・CM・プロモーションビデオ・スチール写真等ジャンルによって、人数・時間・車両台数等規模も内容も大きく異なります。このマニュアルでロケ撮影の流れと注意すべきことを理解していただくことで、施設側の不安を解消し、積極的にロケ撮影に協力していただけることを期待しています。

東京ロケーションボックス  
(東京都産業労働局観光部)  
円滑なロケ撮影を推進する協議会

## 円滑なロケ撮影を推進する協議会

東京都産業労働局観光部では、本年6月に、都内での円滑なロケ撮影の環境づくり・映像作品を活用した地域の活性化・地域と映像業界との連携等について考える協議会を設立しました。委員として、映像製作業界・都内フィルムコミッション・観光団体・商工団体・映像教育機関等に参加いただき、上記の課題に対して広い角度で検討していきます。

最初の取組として、一定のルールの下で円滑にロケ撮影をしていただくために本マニュアルと併せて制作側が遵守すべきことをまとめた「ロケ撮影隊のためのガイドライン」も作成いたしました。

# 目次

はじめに	1
第1章 ロケ撮影の概要とフィルムコミッション	
1 ロケ撮影とは	4
（1）映画の場合	
（2）テレビドラマの場合	
2 ロケ撮影への対応	4
3 フィルムコミッションとは	6
（1）フィルムコミッションの誕生	
（2）東京のフィルムコミッション	
第2章 ロケ撮影に際しての注意事項	
1 事前準備	7
（1）使用許可条件・使用料金等の検討	
（2）施設のデータ作成	
2 ロケ隊から問い合わせが来たとき	8
（1）責任者・担当者の確認	
（2）施設側の撮影条件を明示	
（3）企画書・台本等の提出	
（4）撮影できない場所の下見は断る	
3 撮影許可～撮影日前	9
（1）ロケ隊の人員・機材・車両台数等の確認	
（2）火気・煙・音が発生する場合には、詳細を確認	
（3）電源・水の使用の可否・供給場所等の確認	
（4）控室使用希望の有無、場所、トイレ、喫煙場所などの指定	
（5）ロケ撮影の最終確認	
（6）申請書提出・使用料等の支払いの確認	
（7）近隣・周辺への撮影について告知・周知方法について確認	
（8）時間延長の可否、条件等の調整	
（9）建物・備品等の破損の弁済責任、保険加入の確認	
（10）クレジット掲出の確認	
4 撮影当日	11
（1）撮影現場で立会いをする時の留意事項	
（2）撮影中の写真撮影禁止	
（3）撮影時間の厳守	
（4）状況に応じた現場責任者との調整・連絡・確認の徹底	
（5）後片付けの確認	
5 撮影終了後	12
（1）ポスターやチラシなどの取り寄せ	
（2）撮影風景写真などの二次利用、イベントなどへの作品の活用	

第3章 都内でのロケ撮影の事例	
1 ロケ撮影に協力するメリット	13
2 過去のトラブル事例	14
3 トラブルへの対応	15
参考資料	16
ロケ撮影の際の遵守事項（例）	
使用許可申請書（例）	
使用許可・不許可通知書（例）	
チェックリスト（例）	
映画制作の流れ	
用語解説（映画制作用語）	
スタッフの構成と役割	
用語解説（機材関係）	
撮影用機材写真	



# 第1章 ロケ撮影の概要とフィルムコミッション

## 1 ロケ撮影とは

映像作品を制作する上で、撮影用のスタジオ以外の町中や建物内で撮ることをロケーション撮影（通称ロケ撮影）といいます。制作側は、作品のイメージ・都心からの移動時間・制作予算など様々なことを考慮して最適の場所を選びます。

ロケ撮影といっても、映画・テレビドラマ・CM・プロモーションビデオ・スチール写真と、種類や作品の規模によりスタッフの数・撮影時間など大きく異なります。

### （1）映画の場合

現在の劇場用映画は、作品ごとに複数の企業が資金提供して「製作委員会」を作り、制作会社のプロデューサーが監督やスタッフを集めて制作する方式が主流となっています。作品が完成すると解散することが多くなっています。

制作会社の中でロケ地の選定を行うのが「制作部」です。この制作部は、撮影の準備から終了後のフォローまで担当する部署であり、制作側の窓口になります。

ロケ隊は、通常 60～80 人程度、車両は通称「ロケバス」と呼ばれるマイクロバスや美術・照明機材等のトラックなど大型車も含め 10 台以上になることもあり、大きな部隊を形成します。

### （2）テレビドラマの場合

現在、テレビドラマは、首都圏では、NHK・民放合わせて、週に 30 作品以上が制作・放映されています。

連続ドラマは、放映日が決まっているため、スケジュールがタイトであり、スタッフは常に放映日に追われている状態です。台本の執筆が遅れたり、ロケ地が直前まで決まらなかったりと、放映日までの限られた日程の中で撮影をしなければなりません。

スタッフの構成は、責任者はテレビ局のプロデューサーですが、残りのスタッフは外注の制作会社を使うことが多く、ロケ隊は 40 人～50 人、車両はロケバスを含め 8～10 台程度です。

## 2 ロケ撮影への対応

映像作品を制作する上で、台本のイメージに合うロケ地を探し出すことは大変重要です。制作部を中心にロケ地を複数下見（ロケーションハンティング（通称ロケハン））をして、様々な角度から適する場所を監督に提案します。

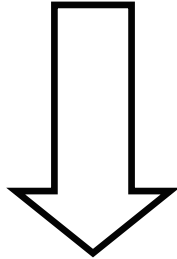
複数の候補地の中で、最終的にどこにするかは、監督・照明・美術等が再度ロケハン（メインロケハン）をして決定します。そのため、複数の施設に撮影依頼をしている場合も多く、結果的に制作側からキャンセルすることもよくあります。

ロケ撮影への対応をフロー図にまとめました。

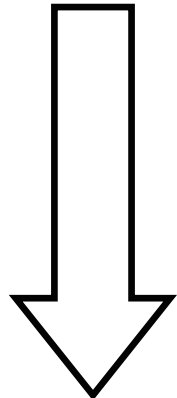
# ロケ撮影対応フロー図

## ロケ撮影の流れ

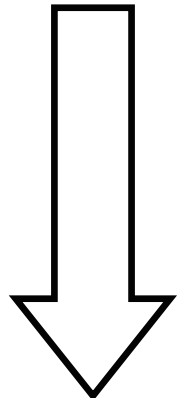
ロケ隊受入れの事前準備・・・



ロケ隊から問合せが来たとき・・・



撮影許可～撮影日前・・・



撮影当日・・・・・・・・

## 確認事項・留意事項

使用許可条件整備・料金設定

ロケ隊への情報提供  
(施設の写真・条件掲載等)

責任者・担当者・連絡先確認

撮影シーンの確認  
(台本・企画書等)

施設側の条件明示

責任者ロケ隊の人数・車両台数確認

火気・大音量の発生の有無を確認

使用許可申請書提出・料金支払いの確認

周辺地域への事前周知の確認

時間延長の可否・最大延長時間決定

建物・備品の破損時の弁済責任の確認

キャンセル等の事前連絡の徹底

クレジット掲出の可否

撮影の立会い

撮影時間の厳守

ロケ隊責任者との調整・連絡・確認

清掃・ゴミの片付けの徹底

建物・備品の破損等の確認

### 3 フィルムコミッションとは

#### (1) フィルムコミッションの沿革

フィルムコミッション（FC）とは、ロケ隊を誘致しロケ撮影に関する支援を行う非営利組織です。1940年代にアメリカで誕生し、以降世界各国に次々と設立されました。1975年には「国際フィルムコミッショナーズ協会」（AFCI）が設立され、現在300以上のFCが加盟しています。

日本では、2000年に大阪で設立された「大阪ロケーションサービス協議会」を始めとして、全国で100以上のFCが活動しています。

これだけ多くのFCが誕生した理由は、町の歴史や文化・豊かな自然などが映像作品によって広く紹介されることで、町を訪れる観光客が増え、経済効果もあると考えられているからでしょう。

#### (2) 東京のフィルムコミッション

東京には、東京都が運営する「東京ロケーションボックス」のほか、5ヶ所にFCがありロケ撮影に関する相談受けや情報提供を行っています。

##### [東京ロケーションボックス]

〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 都庁第一本庁舎29階 産業労働局観光部内

電話03-3344-0005

URL: <http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/tlb/>

##### [台東区フィルムコミッション]

〒110-8615 台東区東上野4-5-6 台東区文化観光部にぎわい誘客課内

電話03-5246-1148

URL: <http://www.city.taito.tokyo.jp>

##### [八王子フィルムコミッション]

〒192-0083 八王子市旭町12-1 ファルマ802ビル5F (社)八王子観光協会

電話042-643-3115

URL: <http://www.hachioji-kankokyokai.or.jp/hachioji-fc/>

##### [立川フィルムコミッション]

〒190-0012 立川市曙町2-38-5 立川ビジネスセンタービル12階 立川商工会議所内

電話042-527-2700

E-mail: [info@tbt.gr.jp](mailto:info@tbt.gr.jp)

URL: <http://www.tbt.gr.jp/fc/>

##### [NPO 日野映像支援隊]

〒191-0012 日野市日野1369-27 ひの市民活動支援センター内

電話042-593-5315

E-mail: [common@ta3.so-net.ne.jp](mailto:common@ta3.so-net.ne.jp) URL: <http://hino-film.hp.infoseek.co.jp>

##### [八丈島フィルムコミッション]

〒100-1401 八丈町大賀郷2551-2 八丈町商工会内

電話04996-2-3388

E-mail: [info@8jo-fc.com](mailto:info@8jo-fc.com)

URL: <http://www.8jo-fc.com>

## 第2章 ロケ撮影に際しての注意事項

ロケ撮影に協力することは、施設側にもメリットがありますが、安易に受けしてしまうと思わぬ問題が起きることがあります。

ここでは、ロケ撮影に関して注意すべき問題とその対応策についてまとめました。

ただし、各施設ごとに事情が異なるので、このマニュアルを参考にされて独自の対応ルールを作られることをお勧めします。

### 1 事前準備

#### Point

- 使用許可条件・使用料金等の検討
- 施設のデータ作成

#### (1) 使用許可条件・使用料金等の検討

ロケ撮影に関する使用許可条件（撮影時間、場所、機材の搬入・搬出ルート、警備体制等）、施設使用料、立会い費用などは、いつでもロケ隊に提示できるように明示しておきましょう。

また、オフィスビル・商業ビルなどでテナントが入居している場合は、撮影によるテナントへの影響も考慮して許可条件を決める必要があります。

#### (2) 施設のデータ作成

ロケ隊に施設の概要が説明できるだけでなく、資料として提供できるように、電子データを作っておくとよいでしょう。写真はデジタルカメラで十分です。

可能であれば、ホームページへも掲載してください。



#### 写真撮影のポイント

- ・ 施設の外観は正面だけでなく、様々な角度から撮ってください。
- ・ 周囲の様子がわかるような写真があればベストです。
- ・ 内部もロケ撮影が可能であれば、写真を撮ってください。

## 2 ロケ隊から問い合わせが来たとき

### Point

- 責任者・担当者の確認
- 施設側の撮影条件を明示
- 企画書・台本等の提出
- 撮影協力の意思が無い場合には下見や見学、写真撮影を断る

#### (1) 責任者・担当者の確認

通常、制作部のラインプロデューサーや制作担当などがロケ撮影に関する窓口担当者になりますが、必ずしも制作会社の社員であるとは限りません。作品ごとに参加している別会社の社員やフリーの制作者ということもあります。

通常の連絡・調整の担当者とは別に、念のため、撮影後も対応が可能な責任者を確認しておけば安心でしょう。

#### (2) 施設側の撮影条件を明示

ロケ撮影に関して施設側の条件はきちんと伝えましょう。「もしかしたらできるかも・・・」というあいまいな回答は禁物です。迷ったときはその場で回答せず、施設の管理責任者等へ確認しましょう。

#### (3) 企画書・台本等の提出

内容を理解するためにも台本・企画書などを取り寄せてください。少なくとも、撮影するシーンの抜粋くらいは提出してもらいましょう。

CM やバラエティ番組などの場合は、撮影イメージをイラストにした程度のものでなく、スケジュールもタイトな場合が多いです。また、CM は、制作会社が特に情報流出を避けるため、スポンサーの名前を伏せる傾向があります。

ただし、台本の内容は随時変更されるものであり、実際の撮影の時に台本と違うことを始める場合もあるので、撮影に立会って内容を確認してください。

なお、台本などは制作発表までは秘密事項なので、第三者へ情報を漏らすことは厳禁であり、適正に管理してください。

#### (4) 撮影できない場所の下見は断る

制作会社は、新しいロケ地を常に探しています。新しいビルや廃工場など見えそうな場所を見つけると、「参考に見せて欲しい」と来る場合があります。軽い気持ちで対応しがちですが、「見せてくれた」＝「撮影可能」と判断されることもあるので、撮影に使用できない場所は下見も断ることが賢明です。

### 3 撮影許可～撮影日前

#### Point

- ロケ隊の人員・機材・車両台数等の確認
- 火気・煙・音が発生する場合には、詳細を確認
- 電源・水の使用の可否、供給場所等の確認
- 控室使用希望の有無、場所、トイレ、喫煙場所などの指定
- ロケ撮影の最終確認
- 申請期限・使用料等の金額の確認
- 近隣・周辺への周知についての確認
- 時間延長の可否、条件等の調整
- 建物・備品等の破損の弁済責任、保険加入の確認
- クレジット掲出の確認

#### (1) ロケ隊の人員・機材・車両台数等の確認

当日のロケ隊の人数や大型機材の有無・車両台数等を必ず確認し、駐車場・床やエレベーター等養生する場所を指示します。特に電源車など撮影場所の近くに駐車する必要がある車両について、場所が確保できるか事前に確認してください。

#### (2) 火気・煙・音が発生する場合には、詳細を確認

撮影中に火薬・煙を使ったり、音を出す場合には、詳細を事前に把握するとともに周辺地域へ周知しているか確認してください。消防署の許可は制作会社が行いますが、施設側も防火管理者としての管理体制が問われます。

また、事前に周知していないと、近隣から警察・消防に通報されたり、施設側へ苦情が来る場合もありますので、未然にトラブルを防ぐためにも詳細な打合わせが必要です。

#### (3) 電源・水の使用の可否・供給場所等の確認

通常、ロケ隊が電源車や散水車を用意しますが、施設側で電気・水道の使用を許可する場合は、電源の場所や電気代等の支払いについて事前に調整しておきましょう。

#### (4) 控室使用希望の有無、場所、トイレ、喫煙場所などの指定

撮影当日に俳優が使用する控室を求められる場合がありますが、控室は長時間占有する場合もあるので、適当な部屋が無ければ最初にはっきり伝えましょう。

映画などの場合はスタッフも大人数になるので、トイレも社員や来客に支障が無いよう、ロケ隊が使用する場所を指定した方が良いでしょう。

また、喫煙場所の指定・ゴミの処理についても、事前に指導しましょう。

#### (5) ロケ撮影の最終確認

最終的にロケ地として選定しなかった場合に、ロケ隊がキャンセルの連絡を忘れることがあります。

当日の混乱を回避するために、キャンセルの時には必ず連絡することを許可条件に盛り込むなど対策を考えておきましょう。

(6) 申請書提出・使用料等の支払いの確認

ロケ隊には、使用許可申請書を必ず期限までに提出することと、提出が無ければ正式に許可しない旨を伝えるようにしてください。

使用料や立会い費用は、休日・早朝深夜には割増しを設定するところもあります。

支払いは、現金で前払いが最も確実です。時間延長などの追加料金についても、撮影当日に支払ってもらうことをお勧めします。

(7) 近隣・周辺への撮影について告知・周知方法について確認

ロケ撮影は、少なからず近隣にも影響を与えます。制作会社が、事前に周辺住民に撮影日程や内容を周知しますが、有名な俳優が出演する場合は、混乱を避けるために、必要最低限の告知しかしないこともあります。

特に、屋外での撮影の場合は、施設側からも周囲への配慮についてロケ隊に確認してください。

(8) 時間延長の可否、条件等の調整

ロケ撮影は、時間までに終了しないことが頻繁にあります。事前に延長の可否や条件（最大延長時間、追加料金など）を決めておくことが重要です。

ロケ隊は厳しいスケジュールで撮影していることが多いので、その場で終了まで何とか延長しようとする場合がありますので、事前に決めておきましょう。

(9) 建物・備品等の破損の弁償責任、保険加入の確認

撮影中に、注意していても不可抗力で建物や備品を破損してしまうことがあります。その時の損害賠償について事前に確認しておく必要があります。

損害賠償保険に加入することを許可条件にしているところもありますが、もし、加入していない制作会社の場合は、賠償方法を書面で提出してもらうなど事前に取り決めておくことが賢明です。

(10) クレジット掲出の確認

映画やテレビドラマの場合は、撮影が決まった時点で制作側に依頼しておけば、多くの場合、作品が上映（放映）されたときに、エンドロール（作品の最後にスタッフ名・協力した施設名などが流れる部分）などにクレジットを掲出してくれます。

しかし、CM やプロモーションビデオなどは、クレジット掲出はありません。

また、海外作品の場合は、国によってクレジット掲出に対する考え方が異なりますのでその都度確認してください。



## 4 撮影当日

### Point

- 撮影現場での立会いをする時の留意事項
- 俳優の肖像権・作品の著作権に関する留意事項
- 撮影時間の厳守（終了時刻でも撮影が終わらない場合は撮影を中止させる）
- 状況に応じた現場責任者との調整・連絡・確認の徹底
- 後片付けの確認

#### (1) 撮影現場で立会いをする時の留意事項

##### ①音に注意する。

撮影中は、不要な音が入らないようチャイム・アナウンス等を止めなければなりません。立会いをする時も、携帯電話の電源は切るか、マナーモードにして下さい。

##### ②立ち位置に注意する。

撮影中は、カメラフレームに入らないよう立ち位置には注意してください。

##### ③関係者以外立ち入り禁止

撮影場所には関係者以外は立入禁止です。立会いの人数は事前にロケ隊へ伝えとともに、腕章をつけるなど一見してわかるようにしてください。

#### (2) 俳優等の肖像権・作品の著作権に関する留意事項

施設側で撮影風景を写真やビデオに撮る時は、事前に制作側の責任者に許可を得てください。俳優たちに肖像権があるのは言うまでもなく、俳優がいなくても勝手に写すことは出来ません。

また、撮影風景の写真などを二次利用する場合も許可が必要です。予定がある場合は、事前に書面で許可を得ておきましょう。撮影終了後は、著作権が制作部から著作権部へ移り、許可を取ることが難しくなります。

#### (3) 撮影時間の厳守

ロケ撮影は、予定通りに進まないことが頻繁にあります。事前に決めた時間が来たら撮影途中でも中止してもらう方が良いでしょう。

状況によっては、時間延長に応じられる場合もあると思いますが、度重なるとロケ隊への不信感にもつながり、お互いに良い関係が築けません。

#### (4) 状況に応じた現場責任者との調整・連絡・確認の徹底

事前の約束事項に違反する行為があった時は、すぐにロケ隊の責任者に注意してください。また、当日に想定外の事態が生じることもあるので、状況に応じて責任者と対応を協議してください。

#### (5) 後片付けの確認

撮影終了後の確認をする時は、ロケ隊の責任者と同行しましょう。清掃しているか、忘れ物・器物の破損が無い、ゴミは片付けたかなどを一緒に確認すれば後日のトラブルはありません。



## 5 撮影終了後

### Point

- ポスターやチラシなどの取り寄せ
- 撮影風景写真などの二次利用、イベントなどへの作品の活用

#### (1) ポスターやチラシなどの取り寄せ

必要があれば、ロケ撮影に協力した作品のポスターやPR用チラシを公開前に制作会社から取り寄せることが可能です。社内・関連施設等に掲載できれば、PRになります。

#### (2) 撮影風景写真などの二次利用、イベントなどへの作品の活用

社内広報誌やホームページなどへ撮影風景の写真などを掲載する場合は、その都度制作側の許可が必要です。写真等の二次利用の予定があれば、事前にプロデューサーなど制作側の責任者に許可を得ることをお勧めします（出来れば書面にておきましょう）。撮影後に承諾を得るのは大変煩雑で困難になります。

また、制作側がロケ撮影を行った施設や地域が行うイベントや、観光パンフレット・ロケ地マップ等作成に作品のキャラクターや写真を使用することを許可してくれることもあります。ただし、これは作品のプロモーションにもなる場合や、撮影に関して多大な協力をした場合のことであり、いつでも許可されるというわけではありません。もし、希望があれば、ロケ撮影が決まった早い段階で制作側の責任者に相談してください。



## 第3章 都内でのロケ撮影の事例

都内では、多くの公共・民間施設がロケ撮影に協力しています。平成19年度に東京都では、都内民間施設の中で、ロケ撮影に協力している寺院・ホテル・レストラン・商業ビル・鉄道事業者等にヒアリング調査を行いました。その主な意見を掲載します。

### 1 ロケ撮影に協力するメリット

- ・ 施設や企業のPRとしてのメリットになる場合のみ協力している。単なる場所貸しではない。お互いのメリットがあることが重要である。従って、多くの撮影依頼があるが、内容的に施設・企業側のメリットが明確であるのはごくわずかである。全部受け入れてしまうことは物理的にも無理なので厳選している。
- ・ 医療施設では、広く一般に医療情報や医療のあり方などを知ってもらうなど、社会的な意義がある報道番組の取材は可能だが、患者の取材や映像は禁止。
- ・ 新築のビルでは、ファッション雑誌やCMなどの写真撮影は毎日、映画やドラマは月10本もあり、それなりに収益を上げビルの宣伝にも役立っている。
- ・ 写真撮影で1時間3~5万円、ドラマは1時間10万円以上、1日の基本料金が15万円以上の施設もある。営業時間以外は25%増、撮影時間には搬入・搬出などの準備も含む。ドラマよりもCM等は撮影料金を上げる場合もある。
- ・ 使用料など直接メリットのほかに、好きな役者が出演している番組の舞台となった場所ということで来場するお客さんがかなりいるため、集客効果があり、宣伝効果も大きい。ただし、作品によっては宣伝にならないケースもある。
- ・ 都心のホテルでは毎日何かしらの撮影が入っている。ホテルは営業として貸室業なので、他のお客様に迷惑にならない限り受け入れている。但し、撮影には極力立会い、場合によっては制限をかけることもある。

### 2 過去のトラブル事例

- ・ 申請にうそが多い。申請とは全く違う内容で撮影する。
- ・ 事前に約束した禁止事項や注意事項が遵守されない。
- ・ 駐車場が無いにも係わらず、ロケバス・衣装車・カメラ車・照明車など連れて来るので、周辺が違法駐車状態になる。
- ・ バラエティはタレントが暴走するケースがあるが、誰も止めない。施設や備品が損傷されるケースもあった。その後、バラエティは受けないこととしている。
- ・ 禁止区域での喫煙やタバコのポイ捨てがある。

- ・ お客様が映像に写りこむものは全て禁止。肖像権の保護のため。
- ・ ロケ撮影はスタジオではない。スタッフが好き勝手、やりたい放題、非常識、無礼極まるケースもある。施設側は人的余裕がないので全てに立会いけない。
- ・ 神社で宗教的な尊厳を損なうことや、参拝者の迷惑になることを平気で行う。文化財を平気で傷つけるなどの問題は重大である。
- ・ 事前に担当者同士で打ち合わせ指示するが、守られないことが多い。「撮影に使ってやっている。テレビに出してやっている。宣伝してやっている。」と言った態度が見える。現場に入る前に、撮影側のスタッフ全員（40 から 50 人）に条件や指示を徹底して欲しい。それが出来なければ、今後は貸し出せなくなる。
- ・ 事前調整時に撮影時間の延長も考慮し設定するが、撮影時間を守らない。
- ・ 撮影時間が深夜になっても平気で騒音（エンジン音、号令など）を撒き散らす。閉館後はお客がいないので、自由に使えると勘違いしている。
- ・ 現状復帰が原則。椅子、テーブルが元の位置に戻っていない場合もある。撮影終了後、撮影側の担当者とチェックを行い、器物の破損が発見されれば協議し、修理してもらう。
- ・ 入室管理の徹底や個人情報の保護などの問題がある。
- ・ 無断撮影・無許可撮影は年間数件があるが、損害賠償請求を含め厳しい措置で対応する。
- ・ ロケハンや撮影当日、時間に遅れても連絡をくれなかったり、撮影日の前日にいきなり準備させてくれと言ってくるロケ隊がいる。

### 3 トラブルへの対策

- ・ 顧客の迷惑にならないことが施設側としての最優先事項である。従って、施設側としてロケ撮影に協力するメリットを明確化することが必要。次のステップとして、土日など混雑する時間帯は避けて許可している。大きな撮影は営業時間外。
- ・ トラブルが起きないように相互信頼関係を築くことが重要。
- ・ 入念な事前調整をコーディネーターや撮影スタッフと行なう。施設側としては撮影時の立会いは必須条件である。スタッフが立ち会わないで撮影トラブルが発生しても対応が直ぐに出来ない。そのため、職員の勤務時間内での撮影が条件。
- ・ 撮影には、搬入から搬出まで立会う。撮影開始前に再度、撮影条件及び遵守事項を全員のスタッフに徹底させるので、トラブルは発生していない。
- ・ 事前の打合せと異なる機材の搬入、時間延長等があれば、お客様への対応上断る。

そのためにも立会いは必要である。

- ・ 商店街としては立会いなどスタッフを出せないが、本来は撮影側との調整担当が立会ったほうが相互に良いとは考えている。
- ・ 海外からの撮影隊との調整は、国内よりも厳しく YES・NOをはっきり言うこと。
- ・ 施設側でも事前に注意事項、防災・防火管理対策、各種マニュアルを整備し、その上で指示を徹底することが相互理解に必要。
- ・ 撮影時間が延びて営業時間に食い込むようなことが想定される場合には、営業保障料金などを事前に打ち合わせておく。

「国内外におけるロケ撮影の支援活動等に関する調査」(東京都 H20.3)より抜粋

## 【ロケ撮影の際の遵守事項】（例）

- ① ロケ撮影に係わる「使用許可申請書」は、撮影の1週間前までに提出してください。
- ② 道路上での撮影は、所轄の警察署の許可が必要です。また、歩行者や車両は迂回路へ誘導し、交通整理要員を配置して安全対策を行ってください。
- ③ 大音量を伴う撮影や夜間・早朝の撮影などは、制作会社が責任を持って事前に周辺住民への説明と協力依頼を行ってください。
- ④ 撮影中の事故又はトラブルが発生した場合には、被害者の救護や被害の拡大防止など、必要な措置を講じるとともに、警察や消防、施設管理者に直ちに報告してください。
- ⑤ 悪天候などやむを得ない事情以外には、撮影スケジュールはできるだけ変更しないようお願いします。変更が生じた場合は、早急に担当者と協議してください。また、撮影をキャンセルする場合は、必ず担当者へ連絡してください。
- ⑥ 申請があった内容以外での施設使用や、第三者の制作会社・団体との共同使用は禁じております。
- ⑦ 撮影により発生したゴミや汚れは、撮影終了後直ちに清掃し、現状復帰してください。後片付けを怠った場合は、次回以降協力できないことがあります。
- ⑧ 撮影中のやむを得ない事故に備え、保険に加入してください。また、万一、人や動植物に危害を加えたり、建物や備品などを破損した場合は、責任を持って損害賠償をしてください。
- ⑨ テナントでの撮影は、別途個別に許可が必要です。また、看板・ロゴマークなどが映りこまないよう注意してください。さらに、一般来場者や通行人の肖像権を侵害しないよう、十分に配慮してください。
- ⑩ その他、特別な対策を必要とする場合には、関係者と十分な調整を行ってください。

## 使用許可申請書（例）

平成 年 月 日

殿

ロケ撮影のため御社施設の使用を申請します。なお、付せられた条件を遵守して使用いたします。

作 品 名 ・ 種 類	作品名： 映画 TVドラマ CM PV スチール写真 その他（ ）		
会 社 名	フリガナ 会社名 代表者 住所	印	
現場責任者氏名・連絡先	フリガナ 氏 名		
担当者氏名・連絡先	フリガナ 氏 名 電話番号（携帯でも可） e - m a i l		
撮 影 日 時	平成 年 月 日 時から 月 日 時まで * 申請時間には、搬入・搬出の時間を含みます。		
撮 影 希 望 場 所	屋内		
	屋外		
撮 影 参 加 人 数	スタッフ	人	出演者（エキストラ含む） 人
主 な 撮 影 機 材	* 大型の撮影機材を搬入する場合は、必ず記載してください。		
車 両 台 数	電源車（ 台）	ロケバス（ 台）	その他（ 台） 駐車場使用希望 有り 無し
火気使用、道路使用等	火気使用（有、無）、道路使用（有、無）、道路占有（有、無）		
添 付 資 料	企画書、台本、シナリオ・シノプス、絵コンテ、その他（ ）		
損害保険加入の有無	加入している 未加入（建物・備品等の破損の弁償責任について念書を提出してください）		

**施設管理者使用欄**

平成 年 月 日受付、No. 担当

平成 年 月 日

**使用許可・不許可通知書(例)**

(申請者)  
会社名

殿

(施設管理者)  
住 所  
会社名

印

平成 年 月 日付 No. で申請された件については、

許可します。 / 許可しません。(理由： )

使用許可日時	平成 年 月 日 時から 月 日 時まで *使用許可時間には、搬入・搬出時間を含みます。		
使用を許可する場所	屋内		
	屋外		
使用料等 (税込み)	使用料	円 (@ 円 × 時間)	領収確認印
	立会い費	円 (@ 円 × 時間)	
駐車場代	円 (@ 円 × 時間 × 台)		
合計	円		
注 意 事 項	下記の事項に注意して撮影してください。  1. ロケ撮影の遵守事項をよくお読みください。 2. 使用許可した場所以外に立ち入らないでください。 3. 使用時間は厳守してください。時間延長は認めません。 4. 撮影場所の周囲の安全確保に必要な措置をしてください。 5. 撮影後は現状復帰し、立会者の確認を取ってください。 6. 許可条件に違反することが判明した場合は、撮影を中止していただく場合があります。 7. 撮影が中止又は内容変更になった時は、すみやかに連絡してください。		



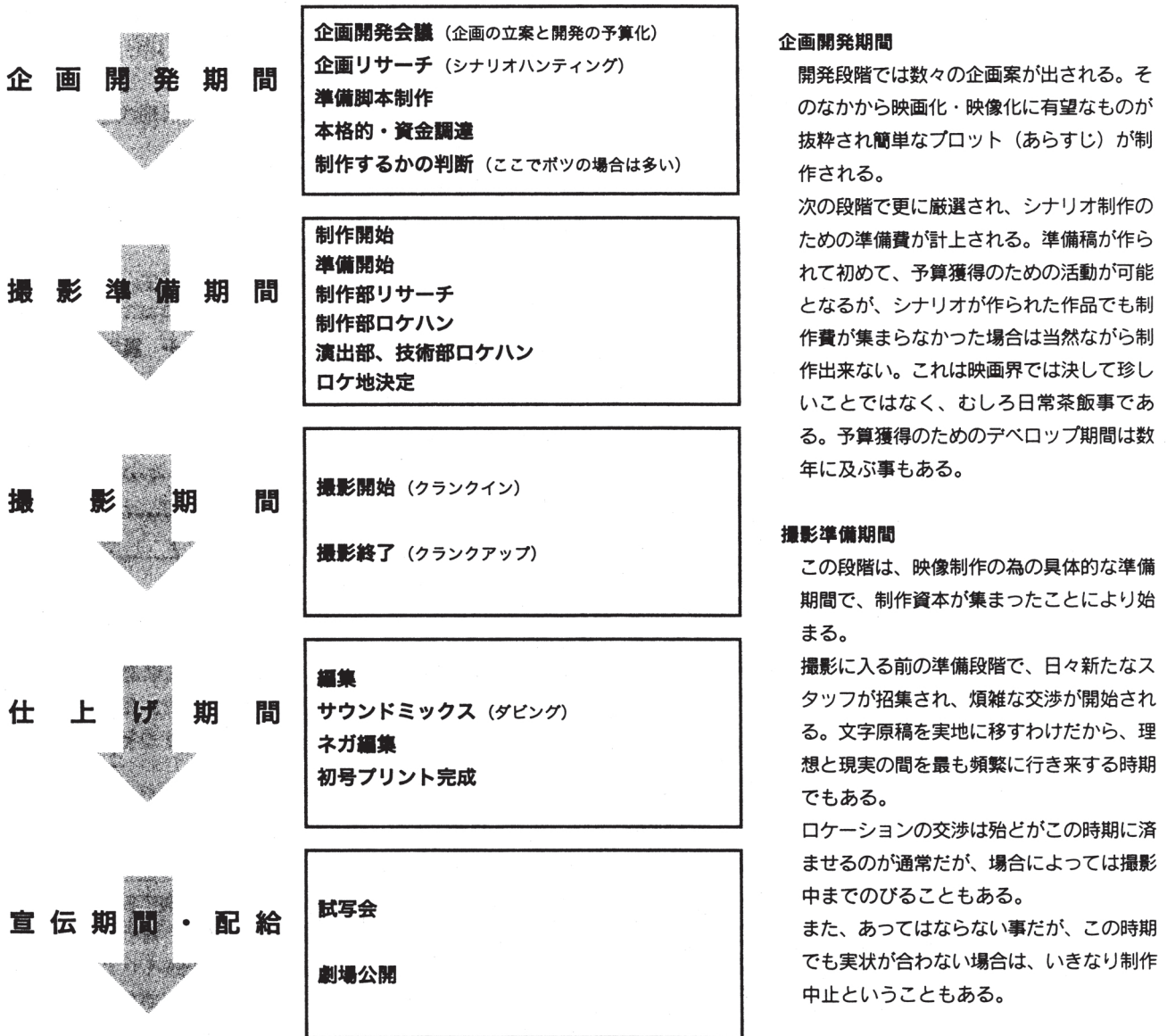
## チェックリスト（例）



	<b>ロケ隊からの問合せがあったとき</b>	チェック欄
1	撮影シーンの内容・責任者・担当者等を確認したか	
2	企画書・台本・撮影シーンの抜粋等は提出されているか	
3	使用条件は説明したか	
	<b>撮 影 決 定 後</b>	
1	使用許可申請書の提出・使用料等の支払いは済んでいるか	
2	撮影に関して変更があった場合の連絡方法を確認したか	
3	ロケ隊の人数・車両台数・駐車場の確保は確認したか	
4	撮影用機材等の搬入・搬出ルート・建物の養生方法は確認したか	
5	撮影で火気や煙、音が発生する場合の対応策は確認したか	
6	施設側で警備員を配置する必要があるか	
7	周辺住民への事前周知は行っているか	
8	電源・水道の供給源・料金の支払い方法を指定したか	
9	出演者等の控室・トイレ・喫煙場所等は指定したか	
10	時間延長の可否・延長できる時間をロケ隊と調整したか	
11	建物・器物を破損した等の弁償方法を確認したか	
12	協力施設・企業名のクレジット掲載を確認したか	
13	撮影風景を写真で撮ること、また二次利用の許諾を取ったか	
	<b>撮 影 当 日</b>	
1	撮影機材の搬入・搬出経路の養生等を行ったか	
2	撮影シーンの変更が無いか確認したか	
3	撮影シーンの変更が無いか確認したか	



## 映画制作のながれ



### 撮影期間

シナリオの文字から映像への変換。全スタッフ、キャストの技術と想いが定着する。

### 仕上げ期間

撮影終了後、現場スタッフの殆どは解散し、制作部と演出部の一部スタッフが残る。そして現場とは全く異なる、仕上げのスタッフにより編集と音作りがなされる。また、コンピュータを利用した画像処理等は、この時期に間に合うように、最終の微調整を行う。公開用のプリントが出来ることにより、映画制作は終盤を迎える。

### 宣伝配給

作品は一般劇場公開に向けて新たな配給・宣伝チームに引き継がれていく。プロデューサー以外、現場を知っているスタッフはいない。

---

## 映画制作に係わる用語

---

### 脚本

映画や舞台用に書かれた台本のこと。

### 脚色

小説などの原作を、映画化するために改編すること。

### プロット

脚本を簡素化し、あらすじをまとめたもの。

### 絵コンテ

シーンの雰囲気や撮影アングルなどを説明しやすいように描かれたラフ・スケッチ。

### クレジット

映像に関わった俳優やスタッフなどのリスト。主要役職は映画の冒頭に、その他は作品終了後に表示されるのが一般的。

### キャスティング

配役のこと、もしくは役柄にふさわしい俳優を選ぶこと。

### 制作費

制作段階で掛かった費用の総額。それに宣伝費と公開経費を加えた費用を総制作費という。

### 映倫（映画倫理監視委員会）

青少年の健全育成を旨として、性的シーンや暴力シーンを審査する。

## 映画の分類

### 大作映画

日本では制作費10億以上の作品を超大作、5億以上を大作と言うが明確な基準はない。

### ローバジェット映画（フィルム）

制作費が通常より遙かに低く、適切な報酬を払わずに作られる映画。

### Vシネマ

ビデオ販売とレンタル用に作られる作品の総称。

### 自主映画

監督が自分の思いで作る事が多く、企業資本が入り難い。

### カルト・ムービー

熱狂的な支持者によって人気を得ている映画。

### ドキュメンタリー映画

ある事実に基づいて作られるノンフィクション映画。

### PR映画

ある特定企業や商品の宣伝のために作られる映画。

---

## スタッフの構成と役割

---

### 製作会社

映画を制作する会社で、作品の著作権を持つ。

### 配給会社

全国の劇場で映画を上映の手だてをする会社。

### 制作協力会社

制作会社から制作資金を預かり、制作の下請けをする会社。

### プロダクション

制作会社と制作協力会社の両方を含む映像制作会社の総称。

### ポストプロダクション

撮影終了後の編集や音入れをする作業名と仕上げスタジオの総称。

### 制作総指揮（エグゼクティブ・プロデューサー）

プロデューサー及び監督を総括し、作品の基本ラインを決める権限をもつ最高責任者。

### プロデューサー

制作、監督ほか全てのスタッフ、俳優を総括し、映画制作のための金策を行なう人。

### ライン・プロデューサー

プロデューサー資金の出入りを現場で総括する立場にある人。以下に制作担当、制作主任の順に指揮系統を持つ。

### 制作部

撮影の準備、進行、始末の全てを賄うスタッフ。

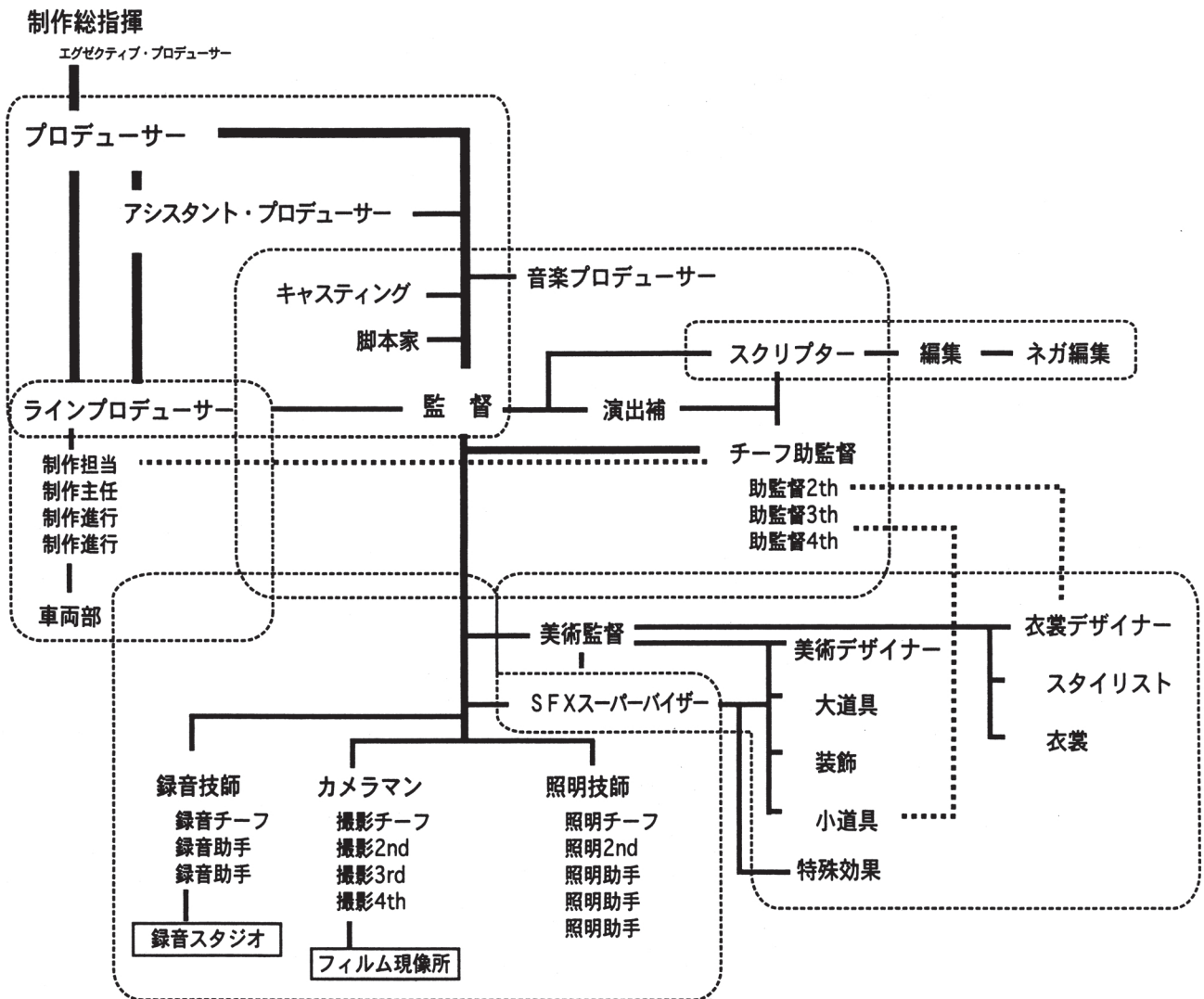
### 制作進行

現場で撮影をスムーズに進める仕事。

### 演出部

監督を中心とし、役者の演技補助や小道具確認など、演出に関わる全ての仕事をこなす。

## スタッフの構成と役割のフロー図



現場の統制はプロデューサーによって下地が作られるのが一般的である。監督が選出されると同時に脚本家に声掛けがなされ、情報収集のための最低限の制作もしくは演出スタッフが招集される。そして企画が決定すると、撮影準備のために制作部、演出部、技術部、美術部が本格的に組織化される。

制作部は、アシスタントプロデューサーもしくは製作担当を筆頭に指示系統が形成され、撮影がスムーズに進行していくために現場の細々とした調整をしていく。

演出部の統括責任者は勿論監督であるが、実務作業における指揮は演出補や助監督チーフが行う。そして制作部および、技術スタッフ、美術スタッフ間の調整を行い、役者まわりの演出背景を作っていく。監督補は主に監督が演出プランを練る際の補佐をし、助監督チーフはスケジュール調整、セカンドやサードは衣裳を含む美術まわりなどと、多様な役目を果たすため、特に分業が進んでいるパートでもある。

技術部の中心は撮影部であるが、照明、録音部を一括して統括するものではない。照明や録音は、それぞれの技師（長）のもとに統制される。技術パートの本分は、カメラによりフレーミングされた映像の臨場感を、如何に損なわずに技術的に再現するかである。

美術部は主に美術的背景を作るパートと衣裳部に分かれる。互いの均衡をはかるために、独自に美術監督をたてることもある。

制作チームのあらまはざっとこのようなものだが、実際の制作現場では（予算などによって）この構成に欠損が生じることもある。そのような場合は、そのプロジェクトに応じた独自のスタッフ構成をフレキシブルに編成して対処する。必ずや教科書どおりに決められたパートが作られるとは限らない。

## 機材関係

### カメラ

#### アイマックス

70ミリという最大のフィルムを使用する。大型アイマックスシアターなど大型映像施設の為の映像に利用される。

#### 35ミリカメラ

一般的な劇場用映画の撮影のために使われるカメラ。主なメーカーに『パナビジョン』『アリフレックス』等がある。

#### 16ミリカメラ

機動力を生かした撮影に用いられる事が多く、35ミリフィルムに比べフィルムコストが安い為、低予算映画などでもよく用いられる。また、16ミリとして上映されるのみならず、35ミリの拡大プリント(ブローアップ)にして上映される場合もある。

#### 8ミリカメラ

もともと家庭用に普及した撮影機材であるが、一時期は学生映画などで多く用いられた。しかし、高性能なビデオカメラなどの普及により最近ではあまり使用されない。

#### ハイビジョンカメラ

通常のNTSC方式より高密度の画質を再現することが出来るカメラ。

#### デジタルビデオカメラ

従来のアナログ方式に比べ、コピーによる劣化がないデジタル記憶方式のカメラ。

#### アナログビデオカメラ

アナログによる記憶方式であるためコピーの劣化が生じるなどのマイナス面がある。最近是非主流となりつつあるが、デジタルに比べ格段に品質が落ちると言うことではない。

### 照明機材

#### HMIライト

発光部にハロゲン化合物を利用した昼光色のライト。小型で大光量を発することが出来る。

#### クォーツ系ライト

タングステン系のライトで小型から大型のものまで仕様が豊富である。

#### キノフロー

蛍光灯を数本束ねたデイライト系のライト。電源の容量が極端に小さく、発熱せず、柔らかい光を発するのが特徴。

#### シネキングライト (通称シネキン)

車のバッテリーを利用したタングステン系のライト。持ち運びが便利のため、補助灯として使われる。

#### カボック

照明用のリフレクターとして多く用いられる、発泡スチロール性の大きな板。人物の皮膚を綺麗に描き出したり、微妙な明るさの調整に用いられる。

### 録音機材

#### ナグラ(NAGURA)

スイス製の6ミリテープを使用する録音機材。アナログだが安定した性能を持ち、今でも同録撮影においては最もポピュラーな機材。ステレオ仕様のものもある。

#### DAT

デジタルによるステレオ録音機材。主に、補助録音機として使われる。

#### ガンマイク

マイクの向いた特定の音だけを抽出する、指向性の高いマイク。

#### ピンマイク

無線で音声を飛ばすマイク。レシーバーと対で使う。



---

## 製品(メディア)用語

### キネコ

ビデオ信号をフィルムに焼き付ける方法。最近ではレーザーにより高精度の焼き付けが可能になった。中でもデジタル技術を用いて焼き付ける事を、デジタルキネコと言ひ、最近需要が拡大している。

### テレシネ

フィルム上のアナログ情報を、ビデオ信号に置き換える方法。

### ドルビー方式

ドルビー社の登録商標でノイズリダクションの最もポピュラーな方式。最近では、デジタルサラウンド方式の作品も増え、ダイナミックな音の再現がされている。似たような方式に、DTS、SDDS方式がある。

### オーサリング

DVDソフトを作る際に必要な編集環境。

### SFX

コンピューターグラフィック等を用いて、通常では撮影不可能な映像を作ること。

### CGI

コンピューター使って映像制作する技術。

### ノンリニア編集

コンピューターを用いた編集で、あらゆる箇所ですべての絵と音が随時に編集可能となった。

---

## 撮影関連用語

### ロケーション

映画の背景となる野外の場所。

### ロケセット撮影

スタジオで大道具を組み上げた撮影とは異なり、既存の施設や建物を利用した撮影。

### ロケーション・ハンティング(通称ロケハン)

撮影場所に適した場所を探すこと。

主に制作スタッフの仕事で、制作・演出・美術・最終の段階と数回に及ぶこともある。

### クランク・イン/アップ

撮影開始をクランク・イン、撮影終了をクランク・アップという。

---

## 撮影関連用語

### 両天(スケジュール)

その日の天候が晴れと雨で、撮影する内容を違えること。

### 引きジリ

室内等の撮影で、カメラが下がる事が可能な精一杯の距離。

### スカイライン狙い

昼とも夜ともつかない、夕方の微妙な時間帯に撮影すること。

### 遮光撮影

黒幕等を利用し外部からの光を遮断し、昼間に夜間等の撮影を行うこと。

### つながり

時間経過における、場面、場面の整合性。

### ロケバス

スタッフの移動以外に、衣裳の保管と役者の待機場所となり、ロケ先につくとメイクアップルームに早変わりする。

### シーン

場面。ドラマを構成する映像のつらなり。

### カット

ドラマを構成する個々の映像ピース。

### テイク

同じカットの撮影を、OKができるまで繰り返す。1回目をテイクワン、以降テイクツー・・・、映像や芝居が良好だったものをOKテイクという。

### アフレコ

撮影時に同時録音せず、スタジオで音を加える事。

### エキストラ

メインの出演者以外に、その場限りの人数合わせて招集された出演者。

### モブ(群衆)シーン

正規の出演者以外に、多くの一般人(エキストラ)を巻き込んだ撮影。

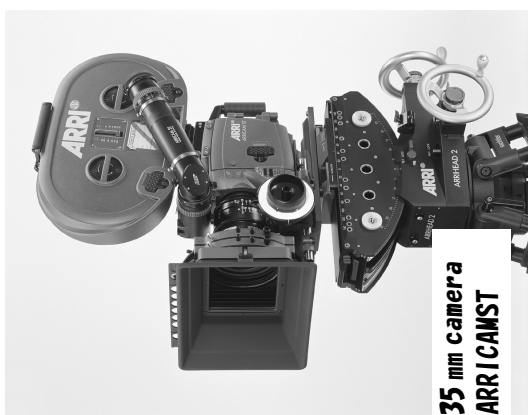
### タク送(宅送)

深夜にまで撮影が及び、タクシーを利用して帰宅させること。

テレビは11時以降はタク送が原則だが、映画は最終電車以降に適応。

# 撮影機材写真

## 撮影機材および特殊機材



35 mm camera  
ARRICAMST

アクションドリー  
(カメラを載せての  
移動撮影など)



イントレ  
(高所からの撮影時などの足場)



※イメージ



Hi-Motion  
ハイスピードビデオカメラ

グリッブドリー  
(カメラを載せて  
の移動撮影など)



スーパーテッククレーン



ムービーボードクレーン



ミニジブクレーン

撮影機材写真

各種ライトおよびロケ車両



ARRI compact  
HMI ライト



ロケバス



パワー  
タンクステージライト



※イメージ



撮影・録音機材車



劇用車



キノフロ  
蛍光灯ライト



照明機材・美術器材トラック



アリエ  
タンクステージライト

平成 20 年度登録第 157 号

**施設管理者のためのロケ撮影対応マニュアル**  
平成 20 年 11 月発行

東京都産業労働局観光部

〒163-8001

東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号  
都庁第一本庁舎 29 階中央  
TEL 03-5320-4800

写真提供協力  
株式会社ナック  
有限会社ケーアンドエル  
有限会社エヌケイ特機  
富士映画株式会社  
日本照明株式会社

印刷  
株式会社まこと印刷

\* 本書を無断で使用、複製することはできません。



古紙/バルブ配合率70%再生紙を使用しています  
石油系溶剤を含まないインキを使用しています